

歴史的な転換期

- 本格的な人口減少・高齢化社会の到来
- 地球環境問題の深刻化
- 急速な経済のグローバル化
- 環境や美しさの重視



安全・安心で豊かな社会づくり

- 災害リスク増大に対応した防災・減災対策の強化
- 日常生活等における安全・安心対策の強化
- ユニバーサル社会の実現
- 四面環海の我が国における新たな海洋政策(海洋立国)の推進

自立した活力ある地域づくり

- 地域づくりの基盤となる社会資本整備の推進
- 広域ブロックの自立の促進
- 持続可能で活力ある地域経営の推進
- 地域における交通の活性化・再生

世界の成長と活力を我が国に取り込む基盤づくり

- アジア・ゲートウェイ構想の実現に向けた人流・物流システムの構築
- 国内外からの投資を喚起する不動産投資市場、住宅市場の活性化
- ICTを利活用したイノベーションの推進

地球環境時代に対応したくらしづくり

- 低炭素社会の構築
- 自然環境の保全と循環型社会の構築

歴史、風土等に根ざした美しい国土づくりと観光交流の拡大

- 歴史、文化等を活かした国土づくりの推進
- 我が国の魅力の増進による観光立国の実現

1. 安全・安心な社会の実現

- 自然災害に対して安全・安心な国土及び地域社会の構築
 - ・気候変動に対応した河川・海岸管理に関する研究
 - ・低頻度カリスク型の沿岸域災害に対する多様な効用を持つ対策の評価に関する研究
 - ・地域被害推定と防災事業への活用に関する研究
 - ・大規模災害時の交通ネットワーク機能の維持と産業界の事業継続計画との連携に関する研究
- 安全・安心に暮らせる日常の実現
 - ・建築空間におけるユーザー生活行動の安全確保のための評価・対策技術に関する研究

2. 誰もが生き生きと暮らせる社会の実現

- 住環境・都市環境の改善と都市構造の再構築
 - ・多世代利用型超長期住宅及び宅地の形成・管理技術の開発

3. 国際競争力を支える活力ある社会の実現

- 人・物のモビリティの向上
 - ・東アジア経済連携時代の国際物流ネットワークとインフラ整備政策に関する研究
 - ・国際交通基盤の統合的リスクマネジメントに関する研究
- 住宅・社会資本ストックの有効活用
 - ・高強度鋼等の革新的構造材料を用いた新構造建築物の性能評価手法の開発

4. 環境と調和した社会の実現

- 地球環境への負荷の軽減
 - ・社会資本のライフサイクルをととした環境評価技術の開発
 - ・日本近海における総合的な汚濁負荷削減対策に関する研究
 - ・業務用建築の省エネルギー性能に係る総合的評価手法及び設計法に関する研究
- 美しく良好な環境の保全と創造
 - ・沿岸域における包括的環境計画・管理システムに関する研究
 - ・地域活動と協働する水循環健全化に関する研究

5. 国づくりを支える総合的な手法の確立

- 総合的な国土マネジメント手法
 - ・国土保全のための総合的な土砂管理手法に関する研究
- 情報技術の活用
 - ・セカンドステージITSによるスマートなモビリティの形成に関する研究

これまでの技術に加え、各課題解決にあたっての必要技術の切り口

① 政策目標値の達成が従前の手法だけでは困難

財政的制約などから治水安全度、交通ネットワーク整備、下水普及率等が未達成
→ 新たな手法の開発・研究 (ex.集中系→分散系、スペック含むコストダウン)

② ストックの維持・更新、ストックの有効活用

戦略的維持管理の手法・計画が必要、将来の維持資金問題も
→ アセットマネジメント、長寿命化、200年住宅など

③ 成長拡大型社会での手法から停滞・減少社会での手法が未整備

人口減少、地域の活力、限界集落等 成長に合わせた手法では対応不能
→ 必要な機能としてのインフラの明確化と機能の確保手法の開発・研究

④ インフラ部門等における総合的手法の模索

資源エネルギー、地域参加、地域の満足感など多様なニーズへの対応
→ ハード・ソフト、分野横断のイノベーション、ヒューマンインフラ技術 など